

地域おこし協力隊

vol. 20

『横山陽子』の活動日記

今年の4月から始まったお米作りが無事に終了しました。お米作りはずっとしたかったことのひとつでした。ひとりで始めるにはハードルが高かったのですが、県の農業指導員、移住仲間、協力隊の高杉さんと協力しながら終えることができました。また地域の方々に助けてもらえたことは感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



終わってみての感想は、お米作りは大変の一言でした。私たちの行ったお米作りは、なるべく機械を使わず、無農薬無肥料のお米を作ることでした。そのため、自分たちで種を撒き、苗を作り、手で苗を植え、除草作業は田くるまを使って行い、収穫は手刈りし稲架干し、脱穀はハーベスターをお借りしましたが足踏み脱穀機も使いました。

一番大変だった作業は、田くるまを使った除草作業でした。蒸し暑い梅雨時に2回ほど田くるまを押ししました。腕は痛い足は田んぼにもってかれそうになりながら頑張って田くるまを押し除草しました。

そのおかげで稲は元気に育ってくれました。そのあとの水の管理は毎日大変でしたが、遅く育っていく稲の姿が愛おしく思えました。

11月初めに地域の方に手伝っていただいて手刈りで収穫稲架かけをして脱穀しました。初めてのお米作りには良い出来具合でした。品種は、名倉穂、黄金錦、ヒノヒカリ、篠原糯の4種類を作りました。汗水流して作ったお米はどんな味がするのでしょうか。とても楽しみです。



＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック

松阪市地域おこし協力隊の

 **Instagram**



松阪市地域おこし協力隊の

 **Facebook**



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。